

グローブ弁

GLV-1

10K

16K

20K

青銅

ダクタイル

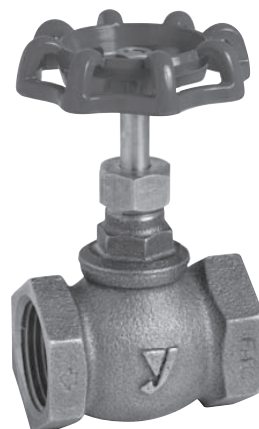
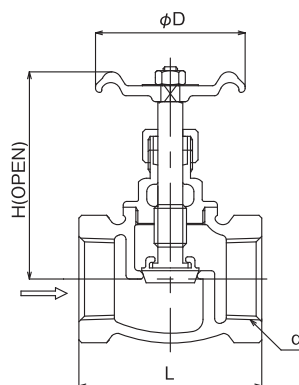
仕様

適用流体	蒸気・空気・冷温水・油・その他非危険流体	
最高圧力	1.0MPa	
最高温度	185°C	
材質	弁箱	青銅
	ボンネット	黄銅又は青銅
	弁体	黄銅又は青銅
接続	JIS Rc	

●工場出荷時、バルブは閉状態です。

寸法及び質量

呼び径	d	L	H	D	質量(kg)
15A	Rc 1/2	50	76	54	0.3
20A	Rc 3/4	57	86	61	0.4
25A	Rc 1	65	100	68	0.6
32A	Rc 1 1/4	75	123	77	0.9
40A	Rc 1 1/2	85	135	77	1.1
50A	Rc 2	100	159	83	1.7



2

手動バルブ

グローブ弁

GLV-10

10K

16K

20K

青銅

ダクタイル

仕様

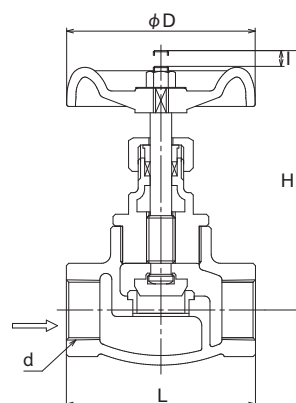
適用流体	蒸気・空気・冷温水・油・その他非危険流体	
最高圧力	1.4MPa ※1	
最高温度	220°C ※1	
材質	弁箱	FCD450
	ボンネット	FCD450
	弁体	SUS410相当
接続	JIS Rc	

※1 使用圧力と使用温度との関係は、P2-3 JIS B2051圧力-温度基準によります。

●工場出荷時、バルブは閉状態です。

寸法及び質量

呼び径	d	D	L	H	l	質量(kg)
8A	Rc 1/4	63	65	100	6	0.5
10A	Rc 3/8	63	65	100	6	0.5
15A	Rc 1/2	63	65	100	6	0.5
20A	Rc 3/4	70	80	110	7	0.7
25A	Rc 1	80	90	126	8	1.0
32A	Rc 1 1/4	100	105	148	10	1.7
40A	Rc 1 1/2	100	120	160	11	2.3
50A	Rc 2	125	140	192	15	3.6



グローブ弁

GLV-16

10K

16K

20K

青銅

ダクタイル

仕様

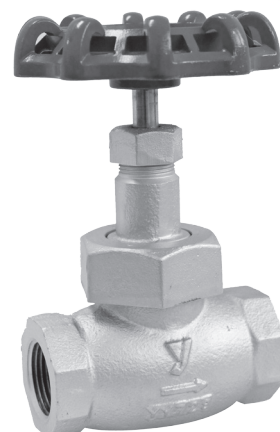
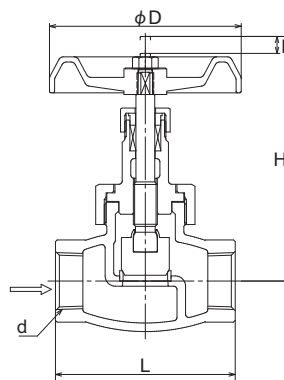
適用流体	蒸気・空気・冷温水・油・その他非危険流体	
最高圧力	2.2MPa ※1	
最高温度	220°C ※1	
材質	弁箱	FCD450
	ボンネット	FCD450
	弁体	SUS403
接続	JIS Rc	

※1 使用圧力と使用温度との関係は、P2-3 JIS B2051圧力-温度基準によります。

●工場出荷時、バルブは閉状態です。

寸法及び質量

呼び径	d	D	L	H	l	質量(kg)
15A	Rc 1/2	83	75	126	6	0.9
20A	Rc 3/4	105	90	135	7	1.1
25A	Rc 1	112	105	150	8	1.7
32A	Rc 1 1/4	132	120	162	9	2.7
40A	Rc 1 1/2	132	135	183	11	3.8
50A	Rc 2	132	160	186	13	5.6



⚠ 注意

設置及び運転に際しては製品に同梱されております「取扱いに際しての注意事項」をご覧ください。

手動バルブ資料

取付けに際しての注意事項

- 製品の保管は屋内でゴミや塵埃、湿気が少なく、通気の良い場所にしてください。
- 取付けは熟練した専門の方が、頭部、目、手足を保護した上で行ってください。
- グローブ弁は流体の流れ方向と製品に表示されている矢印の方向を確認の上、正しく取付けてください。
- 製品を接続する配管は、管軸が一直線になるよう芯出しを行い、製品に過大な配管応力が掛からないようにしてください。
- グローブ弁は製品の運搬・保管中にパッキン応力緩和による締め付け圧力の低下からグランドナット部より漏れを発生させる場合があります。ご使用前に必ずグランドナットの増締めを実施してください。
- 配管と製品を接続する際はシール材(シールテープ等)を配管のねじ部に適用してください。シール材は温度・流体等に適したものを使用してください
- 凍結が予想される場合については、凍結防止策やご使用後の水抜き処置を行ってください。
- グローブ弁は、ハンドルを回してバルブを開閉操作する際に、ステムとの摺動によってパッキンの削れかすが流体中に混入する恐れがあります。流体中へのパッキンの削りかすなどの混入を嫌う使用条件では、グローブ弁の下流側にフィルターを設置して除去してください。
- ボール弁は、「全開」「全閉」用として使用することができます。中間開度で使用した場合、エロージョンが発生し弁体、及び弁座面を損傷する恐れがあります。
- グローブ弁の開閉操作は、必ず手作業で行い、ハンドル回しなどは使用しないでください。故障の原因となります。
- グローブ弁、ベローズ弁を全開で使用する場合、バルブの固着防止のため全開状態からハンドルを45°程度戻して使用してください。
- 配管に製品を接続する際は、配管に近い側のスパナ掛け部を使用し、スパナなどの適切な工具を使用してください。又、製品にパイプレンチを掛け配管作業をしないでください。故障の原因となります。(図1)

図1

